

2024年度 認定こども園手宮幼稚園 学校評価委員会報告書

評価委員会

日 時 2025年3月31日(月) 午前10時~
場 所 手宮幼稚園集会室

組 織

評価委員	阿部美也子さま (手宮地区主任児童委員)	出席
	北川和子さま (手宮地区主任児童委員)	お仕事の為欠席
	北嶋省三さま (梅ヶ枝町町内会長)	出席
	小寺友興さま (小樽市立手宮中央小学校校長) (五十音順)	出席
幼稚園	平宏史 (認定こども園手宮幼稚園園長)	
	櫻井麻実 (認定こども園手宮幼稚園主幹)	

議 題

1. 認定こども園手宮幼稚園2024年度活動・教育理念概要
 - (1) 教育理念に基づく今年度活動報告概要
2. 自己評価結果報告
 - (1) 保護者アンケート調査結果報告
 - (2) 保育者自己評価結果報告
3. 質 疑
4. 感想、ご意見、評価、要望など

【評価委員さまから質疑、感想、ご意見、評価、要望について】

- ・幼保小連携での幼稚園と小学校の交流は、低学年（2年、1年）の子ども達も幼稚園、保育園の子ども達を迎えることを張り切って準備している。低学年は、小学校では一番の年下なので園児たちの訪問は、次年度に進級する意識付けにもなっている。今後も継続して行っていきたい。
- ・外で遊ぶ事は子どもに必要な経験、冬は子ども達の好きな季節、たくさん外で遊んで欲しい。小学校の取り組みとして地域の雪まつり保存会の方の力を借りて、小学校の雪まつりを行った。子ども達がとても良い表情をしていた。幼稚園の子ども達にも、雪まつり体験を誘った。
- ・今の時代は、外遊びをするのにも安全面や環境、健康管理への気遣いで遊び場自体が無くなってしまっている。広い公園は、冬期間は雪捨て場になり、雪に親しむことが少なくなっている。遊びを通しての、ちょっとした怪我の失敗は今後どのようにしたら安全に、楽しく仲良く遊べるかを考える学びに繋がっていく。
- ・大人が子ども達とコミュニケーションを取ることで、子ども達がどのように遊びを理解しているか、またどんなところで遊んでいるか遊び場所の確認が出来て、地域の視点からの子ども達の安全確保に繋がっている。
幼稚園保育者も子ども達と一緒に楽しむという視点を大切にして保育に励んで欲しい。
- ・保育者は保護者とのコミュニケーションを大切にして幼稚園への理解を深めてもらうようになり、子どもの情報を共有することによってお互いに子どもに対する理解を深めていくことができる。
- ・子どもの言葉や行動の記録を残しておくと、問題が起こった時の解決への糸口を見出すことが出来る。
- ・交通安全、防災について、地域としての課題を共有しました。